

(様式1)

施設指定管理者モニタリングチェックシート

令和5年 4月～ 6月

施設名	豊明市老人福祉センター
指定管理者名	社会福祉法人 豊明市社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
所管課	豊明市 長寿課

区分	項目	指定管理者	指定管理者備考	市	市備考
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】				
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A	風呂は週3回実施。	A	風呂の利用は火木土で、5人定員としている。
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A		A	異議なし
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A		A	職員総数4名で常時2名体制をとっている。
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A	上記内訳はボイラー技士、看護師、准看護師。(残りは事務員)
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A		A	業務日誌を確認した。
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A		A	マニュアルは事務室壁面に貼付けてあり、速やかに認識できる
	【利用者に関する業務】				
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A		A	
	利用料金の設定、徴収、還付等手続は適切か	A		A	
	【保守点検並びに清掃業務等】				
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A		A	体育館の指定管理者主体に定期的に行われている。
	定期的に清掃、除草、剪定等が行われているか	A	清掃、樹木剪定、除草など美化に努めている。	A	職員により定期的の実施。
	異常、不具合等が発見した場合、速やかに市に報告しているか	A	都度実施	A	事例発生せず
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A	感染症対策を行っている。	A	
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等が行われているか	A	風呂タイルの補修、トイレ水栓漏水修理、トイレ水栓停止機能修理	A	左記のとおり。
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A	修繕記録で管理を確認・検閲。
	備品は適切に管理しているか	A		A	老福Cの備品台帳にて管理を確認・検閲。
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A	電子データで管理している
	【事業の実施に関する業務】				
	指定事業は適切に実施されたか	A	感染症対策を徹底した中で行っている。	A	可能な範囲で適切に実施されている。
	自主事業は適切に実施されたか	A		A	音楽サロン、カラオケ等実施
	【個人情報の取り扱い】				
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		A	鍵のかかる書庫で管理。
	【①に係る指定管理者の自己評価】 風呂の人数制限を5名とし感染拡大防止を継続実施。 部屋の人数制限は解除。				
	【①に係る施設所管課の評価】 風呂の利用基準は、引き続き火木土の週3日、コロナ対策で定員5名となっており、この基準は入浴の申請名簿にて守られていることが確認できました。また男女それぞれのトイレで漏水が生じた件は、いずれも職員独自に修繕を行い、迅速に対応ができているなど、施設、事業の維持管理が適切に行われています。				区分評価 A

区分	項 目	指 定 管理者	指定管理者 備考	市	市 備考
② サー ビス の 質 の 評 価	【施設の運営状況に関する事項】				
	窓口対応は適切に行われているか	A		A	行なわれている。
	アンケートを実施するなど、利用者の意見を聞いているか	A	アンケート実施予定	A	11月実施予定
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A		A	第1四半期は無し。
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A		A	らくらすバス事故で乗客前倒し事件、市に報告あり。
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A	新型コロナ感染拡大防止のためセンター入口に手指消毒液を継続設置。	A	適正である。
	貸出備品等は良好に保たれているか	A		A	保たれている。
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A	音楽サロン、カラオケサロン、新聞サロン設置再開	A	第1四半期は無し。
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】				
	困りごと相談窓口を開設し利用者の生活相談に応じている	A	月1回相談窓口を開設。	A	第2木曜に予約制で実施。HPと掲示物でも啓発している。
	健康啓発にて来館者の熱中症予防や感染症予防ができているか	A	熱中症予防、感染症防止関係の指導徹底。	A	左記の他、掲示物や声かけも励行。
	福祉団体等の関係機関と連携協力し、利用者と地域社会が協働できる事業を実施している	A		A	連携・協働事業を行う為、その前の打合せを実施。
	HPによる広報・PR活動により利用者の増加	A	本会HP内に老人福祉センター情報を掲載。	A	左記による事などで試みている。
	【②に係る指定管理者の自己評価】 館内は窓を開け換気し、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めた。 適所に資格のある職員を配置し、利用者への対応ができている。 物販4～6月売上件数(コピー白黒138件、コピーカラー7件、タオル0件、名札0件)				
	【②に係る施設所管課の評価】 コロナ対策改善策としてサロンに新聞の設置を再開し、利用者より好評を得ています。その改善策として、施設を使用した後に机、椅子等をタオルで拭き取ることを義務づけていましたが、これを廃止するなど、状況に応じた対応をしています。			区分評価	A
③ サー ビス 提 供 の 安 定 性 の 確 認	事業収支は黒字になっているか	B		B	黒字にはなっていないが、委託料の中でやりくりしている。
	必要な帳簿は備えられているか	A		A	売上帳簿や会計帳簿等があり、それを確認・検閲した。
	経理処理は適正に行われているか	A		A	行なわれている。
	収入増加のための取組がなされているか	A		A	
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A	節電や裏紙利用。	A	可能な範囲でなされている。
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A	安定している。
	【③に係る指定管理者の自己評価】 事業運営に関して、健全で安定した運営を行うことができている。				
	【③に係る施設所管課の評価】 安定したサービス提供がされており、経営処理や団体経営が健全に行なわれています。			区分評価	B

【項目評価】

- S（優 良）： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。
- A（良 好）： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。
- B（課題あり）： 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善）： 協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

- S（優 良）： 項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。
- A（良 好）： 項目評価が全てA以上。
- B（課題あり）： 項目評価にBがある。
- C（要改善）： 項目評価にCがある。